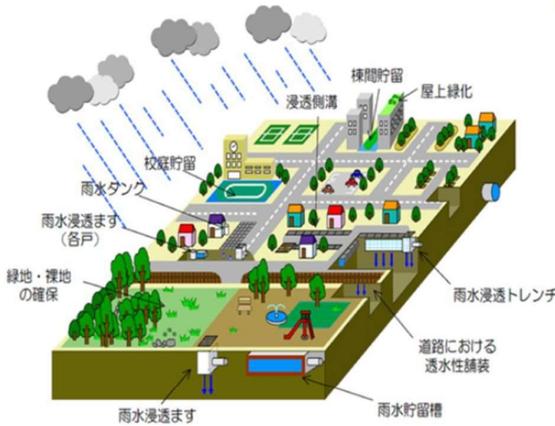


流域対策の進捗

流域対策とは

流域対策 **しみこませる** ⇒ 公園や宅地内における貯留浸透施設の設置などを実施（時間約10ミリ相当の降雨を目標）

<流域対策のイメージ>



● 降った雨を地中に溜める・しみ込ませることにより、下水道・河川への集中的な流入負担を減らす



● 降った雨を地中にしみ込ませる
⇒ 地中にしみ込ませることで、下水道・河川への入量そのものを減らす（雨のベースをカット）

● 降った雨を地中に溜める
⇒ 地中に一時的に雨水を貯留することで、下水道・河川への集中的な流入負担を減らす（雨のピークをカット）

出典：東京都総合治水対策協議会のホームページ

流域対策の進捗

■ 杉並区MAP

杉並区のおもな流域エリアをご覧になりたい場合は、地図内の流域名をクリックしてください。



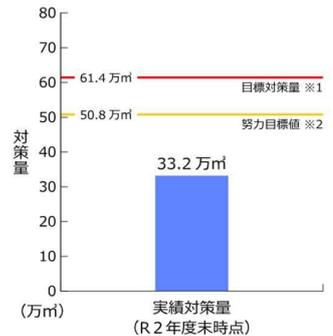
※下記のリンクからでもご覧いただけます。
● 目黒川流域

■ 実績と目標値

河川名	自治体名	実績対策量 (万m ³) ※	目標 (流域別自治体別)		
			1努力目標値 (R12年度) (万m ³) ※2	10mm/hr相当目標対策量 (R19年度) (万m ³) ※1	
9流域の合計			421.9	549.1	631.7
神田川			120.6	175.1	216.4
	千代田区	5.1	7.2	9.0	
	中央区	0.9	2.6	3.6	
	新宿区	22.1	30.0	36.2	
	文京区	16.7	22.5	26.1	
	台東区	0.2	2.9	5.6	
	渋谷区	4.0	4.4	4.3	
	中野区	14.4	22.9	27.2	
	杉並区	33.2	50.8	61.4	
	豊島区	4.4	9.2	14.2	
	練馬区	6.9	7.6	8.8	
	武蔵野市	9.4	13.6	15.9	
	三鷹市	0.5	0.6	2.4	
	世田谷区	2.3	0.19	0.19	
その他	北区	0.1	0.3	0.3	
	荒川区	0.3	0.3	0.3	

※R2年度末時点

■ 流域対策進捗状況 (杉並区)

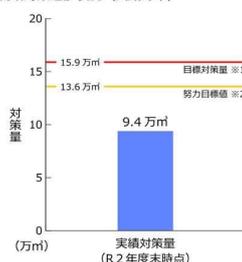


※1 東京都豪雨対策基本方針において平成19年の策定当初より掲げている「おおむね30年後に時間約10ミリ降雨相当の雨水流出抑制を実現する」に対応する目標（なお、本方針は平成26年に改定している）
※2 自主的かつ計画的な流域対策に取り組むため、施設の整備状況や地域特性等に応じて、各自治体が設定した努力目標

【参考】武蔵野市の流域対策の進捗



■ 流域対策進捗状況 (武蔵野市)



【目標対策量 ※1】

東京都豪雨対策基本方針において、平成19年の策定当初より掲げている「おおむね30年後に時間約10ミリ降雨相当の雨水流出抑制を実現する」に対応する目標

注) 当資料は、「神田川流域」のデータであり、神田川流域には、善福寺川のほか、神田川、妙正寺川、江古田川を含む

出典：東京都総合治水対策協議会のホームページ